大規模盛土造成地滑動崩落防止事業の実施状況



大規模盛土造成地滑動崩落防止事業を実施した市町村に対して事業の実施状況を調査し、事業地区毎に回答を集計 〇調査した事業主体及び回答のあった地区数

事業主体及び回答地区数 (下線は工事完了)	
<u>柏崎市1</u>	新潟県中越沖地震 (H19.7.16)
一関市1 仙台市135、塩竃市3、白石市2、亘理町1、利府町1 福島市1、郡山市2、いわき市2、須賀川市1、二本松市1、福島市1、郡山市2、いわき市2、須賀川市1、二本松市1、桑折町1、矢祭町1、石川町1、広野町1、鏡石町1、楢葉町1、西郷村4 ひたちなか市4、鹿嶋市1、東海村2 矢板市3	東日本大震災 (H23.3.11)
熊本市9、 <u>宇土市1</u> 、益城町39、 <u>大津町4</u> 、御船町3、西原村11	熊本地震 (H28.4.14及び16)
札幌市1、北広島市1、厚真町2、安平町2	北海道胆振東部地震 (H30.9.6)
<u>岬町 1</u> 西宮市 1	予防対策
合計 246地区	

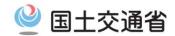
[※]隣接地区をまとめて対策工事を計画施工する等のケースがあり、回答地区数は事業実績とは一致しない。

Oいつ造成された大規模盛土造成地か

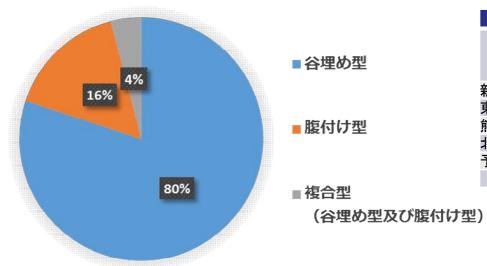
	1949年以前	1950年代	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代以降	小計	造成年代不明	合計
件数	6	7	59	48	29	8	4	161	85	246
割合	4%	4%	37%	30%	18%	5%	2%		_	_

[※]熊本県内で実施された小規模事業については、アンケート調査の対象に含まれていない。

大規模盛土造成地滑動崩落防止事業の実施状況

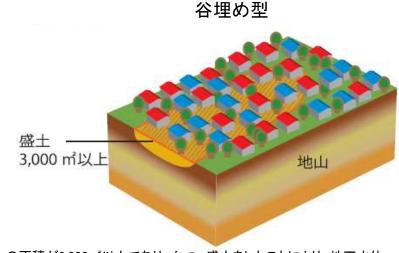


〇宅地造成形態は谷埋め型か腹付け型か

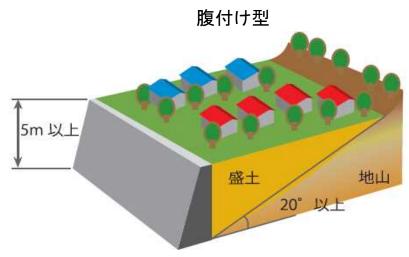


	宅地造成形態						
	谷埋め型		複合型 (谷埋め型及 び腹付け型)	合計			
新潟県中越沖地震	0	1	0	1			
東日本大震災	133	31	6	170			
熊本地震	59	7	1	67			
北海道胆振東部地震	3	0	3	6			
予防対策	2	0	0	2			
合計	197	39	10	246			

※谷埋め型と腹付け型が一連地区となっているものは複合型としている。



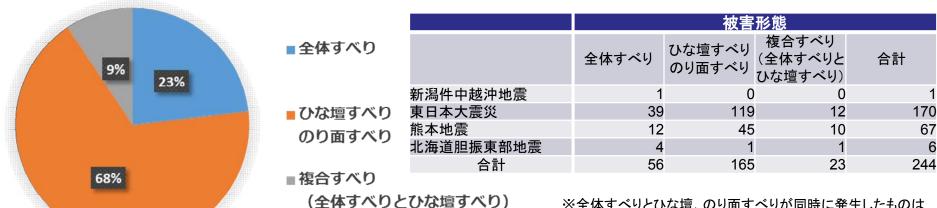
盛土の面積が3,000㎡以上であり、かつ、盛土をしたことにより、地下水位が盛土をする前の地盤面の高さを超え、盛土の内部に浸入している宅地



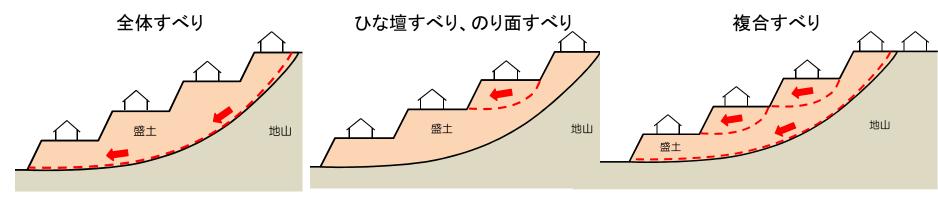
盛土をする前の地山の傾斜が20°以上の急な斜面で、 高さ5m以上の盛土を行った宅地



〇被害形態は全体すべりかひな壇、のり面すべりか(地震により被害を受けた地区)



※全体すべりとひな壇、のり面すべりが同時に発生したものは 複合すべりとしている。

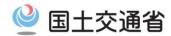


盛土と地山との境界および盛土の内部の脆弱 面などを不連続面とする、盛土全体の地すべり的 変形

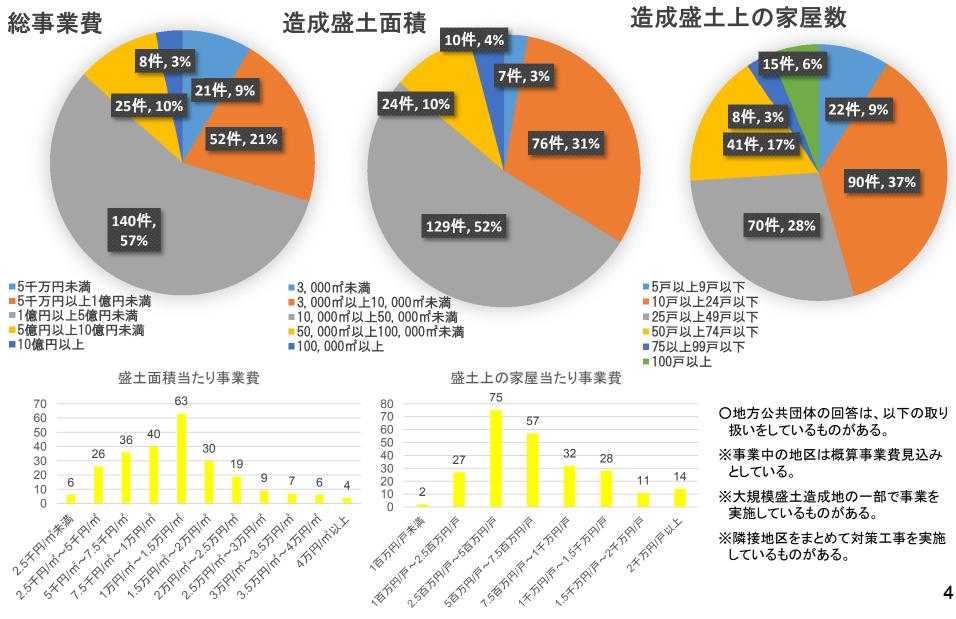
盛土内部の脆弱面を不連続面とする ひな壇1段または数段の地すべり的変 形

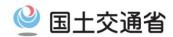
盛土全体の変形とひな壇部分の変形が複合 して発生する地すべり的変形

大規模盛土造成地滑動崩落防止事業の実施状況



○実施規模(総事業費、造成盛土面積、造成盛土上の家屋数)について

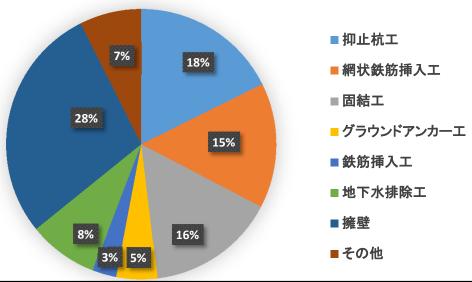


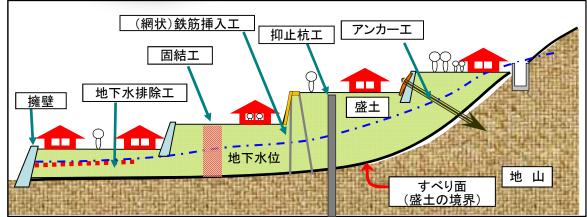


〇対策工について

为策工										
	回答地区数	抑止杭工	網状鉄筋挿 入工	固結工	アンカーエ	鉄筋挿入工	地下水排除 工	擁壁工	その他	小計
件数	246	112	95	98	31	18	53	180	47	634
地区数の割合	100%	46%	39%	40%	13%	7%	22%	73%	19%	-

対策工の件数の割合





抑止杭工



網状鉄筋挿入工



固結工

